

## 平成 28 年度活動報告 -平成 29 年 04 月 21 日(金)-

庶務担当 齊藤雅一

### 1. 総会関係

平成 28 年度総会を平成 28 年 04 月 22 日(金)、ハロー貸会議室秋葉原駅前ルーム B にて 17:30~18:30 の時間帯で開催した。来賓として日臨技副会長の長沢光章様、私立医大技師長会会長の上道文昭様にご挨拶をお願いした。議長は日本大学医学部附属板橋病院の荒木秀夫技師長をお願いした。参加人数は 28 名であった。

### 2. 研修会関係

(1)学術講演会を平成 28 年 04 月 22 日(金) 総会終了後に 18:30~19:30 の時間帯で開催した。「平成 28 年度診療報酬改定の概要と要点」と題してシーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社の松尾久昭氏に講演をお願いした。新しい診療報酬についての説明で、興味深い内容であった。参加人数は 26 名であった。

(2)第 34 回学術研修会を平成 28 年 10 月 29 日(土)、株式会社堀場製作所 2 階会議室にて 10:00~16:30 の時間帯で開催した。メインテーマは『「私立医科大学病院」発！ - 臨床検査部のクォリティーアップを目指して-』で、午前は各大学病院の検査技師による 7 題の一般演題発表を実施した。

ランチョンセミナーは「検査室改善へのアプローチ 検査室のリスク管理から品質保証へ」と題して株式会社エアントリーの黒崎大輔氏をお願いした。検査室の問い合わせ対応内容の分析や記録についての話であった。

午後のシンポジウムは 13:00~15:00 の時間帯で「臨床検査部のクォリティーアップを目指して」と題して 3 名のシンポジストに①ISO15189 取得とその後の活動状況について、②新人の教育システム、③クォリティーアップを促進する人材開発の視点と施策、をお願いした。検査部が取り組んでいかなければならない活動内容で参考になるものばかりであった。

次に、15:20~16:20 の時間帯で慶應義塾大学病院臨床研究推進センター トランスレーショナルリサーチ部門長 臨床研究支援部門長 教授 副島研造先生に「臨床研究推進センターからの提言」と題して特別講演をお願いした。臨床研究を取り巻く国内の現状、慶應義塾大学病院における臨床研究推進センターの取り組みについて概説され、これからの臨床検査技師に求められる役割についても述べられた。参加人数は 70 名であった。

(3)生化学検査の基礎的な内容について、若手技師を対象とした研修会を 4 回開催した。(7 月、9 月、11 月、2 月)

### 3. 会誌『KAMERADEN』の発行

『KAMERADEN』は 63 号(第 34 回学術研修会抄録集との合併号)を平成 28 年 10 月に、64 号を平成 29 年 03 月に発行した。

### 4. 会議関係

会議は理事会を 8 回、編集委員会を 2 回開催した。なお、詳細はカメラデン掲載の議事録を参照して頂きたい。

### 5. その他

経費節約としてカメラデン 63 号と学術研修会抄録集を合併号とした。また、技師会の向上を図るため、活動内容をホームページに表示した。更に、学術研修会の一般演題発表において優秀演題賞を設けるとともに、ランチョンセミナーを実施し、多くの検査技師が参

加出来るよう工夫した。